



YSL (YokaSeikeiLearning) 八鹿青溪中新たな学びのスタイル

2学期始業式の挨拶で、「充実・発展の2学期に」という話に加え、「YSL 八鹿青溪中がめざす新たな学びのスタイル」について話をしました。本校の子ども達の授業態度は大変真面目で、先生の指示のもと丁寧にノートをとったり、進んで発表したりしています。ペア活動や班活動にも積極的で、友だちの意見を聞いたり自分の意見を述べたりしながら交流する姿が日常的に見られます。けれど、「自分で学習内容や方法を考えながら授業に臨んだり、家庭学習を進めたりしているか」と尋ねると、多くの子ども達が「NO」と答えます。特に、家庭学習においては、先生から出された課題をただやっているだけという回答がほとんどでした。

こうした「先生に指示されたり教えられたりしたことを学ぶ“受け身の学び”」を、「自ら課題を設定し、情報を収集・選択・活用しながら探究し、課題解決していく“探究型の学び”」に転換していくというのが、「YSL 八鹿青溪中の新たな学び」です。そしてそのための学習ツール(用具)として、タブレット端末を有効活用します。デジタルを活用すること自体が目的ではなく、デジタル活用を通して、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的推進を図り、子ども達一人一人を“主体的な学び手”に育てていくこと、そして“多様な学びの機会”を創出していくことが本来の目的です。

もちろん、テレビや新聞で報道されている「メディアの長時間視聴による健康被害」や「ネット依存」、「デジタル活用先進国から報告されている集中力低下等の課題」も考慮しつつ、またデジタル活用の成果と課題を検証しつつ、授業改善につなげていきたいと考えています。(同時に校務DXも進め、業務改善・働き方改革にもつなげていきます。)

人工知能(AI)やIoT(Internet of Things:物のインターネット化)、ロボティクス等の先端技術が高度化し、あらゆる産業や社会生活に取り入れられる「Society5.0」の時代が到来しようとしています。急速に進展する情報社会を生きる子ども達に求められるのは、優れた情報活用能力と主体的に社会と関わる態度です。



Google フォームで朝の健康観察

3年理科 「浮力」 「氷が一部水に沈み、一部浮くのはなぜ？」 (探究的な学びの授業:3時間計画)

慣れない学習スタイルに戸惑いつつも、真剣に学ぶ3年生。今後が楽しみです。



教科書を読んだり、実験で検証したり、タブレットに記録したり……。各自、奮闘中。

【参考】文部科学省のHPに他校の実践が介されています。

<https://leadingdxschool.mext.go.jp/>
情報モラル教育ポータルサイト:文部科学省

(リーディングDXスクール事業)
(情報モラルに関する動画や資料を紹介中)

「共創」を合言葉に みんなで創り上げる体育祭

9月1日(月)の全校集会で、生徒会執行部から発表された今年の生徒会種目は3つ。ユニークな演目と内容に思わず笑みがこぼれました。9日(火)から始まった練習でも、3年生のブロックリーダーを中心に生き生きと活動する中学生の姿を見ることができています。自分たちで練習内容を考え、アイデアを出し合いながら練習する姿は、本校がめざす「自ら学ぶ態度」であり、「子どもが主役の姿」です。

20日(土)の体育祭本番まで残りわずか。普段見ることのできない子ども達の活躍や笑顔を見ることができるのも体育祭の醍醐味の一つ。保護者の皆様、地域の皆様の温かいご声援をよろしくお願いします。

☆縄の回し手と心を一つに何回跳べるか？



①君の縄。

②ナゲナゲホイホイ



☆演技の合間にダンス「チェッコリ」を踊る。元気の良いダンスには加点あり！



③ Mission Impossible (障害物競争)

走って、跳んで、投げて、回って…… 中学生が

躍動します！



R7生徒会スローガン 「翔舞^{しょうぶ} ～翔べ！ 思いをのせて 舞え！ 勝利の風～」